

平成29年度
事業計画・資金収支予算書

社会福祉法人 善通寺福社会

I	平成29年度の運営方針	• • • • •	1
II	本部事務局事業計画	• • • • •	2
III	特別養護老人ホーム仙遊荘事業計画	• • • • •	3
IV	ショートステイ仙遊荘事業計画	• • • • •	6
V	仙遊荘デイサービスセンター事業計画	• • • • •	7
VI	グループホーム仙遊荘事業計画	• • • • •	9
VII	老人介護支援センター仙遊荘事業計画	• • • • •	11
VIII	生計困難者に対する相談支援事業	• • • • •	13
IX	養護老人ホーム五岳荘事業計画	• • • • •	14
X	特別養護老人ホームまほろば事業計画	• • • • •	16
XI	公益を目的とした事業の計画	• • • • •	18
XII	仙遊荘拠点区分資金収支予算内訳表	• • • • •	19
XIII	五岳荘拠点区分資金収支予算内訳表	• • • • •	22
XIV	まほろば拠点区分資金収支予算内訳表	• • • • •	24

I 平成29年度の運営方針

1 善通寺福祉会を取り巻く環境

社会福祉法の一部が改正され、平成29年4月1日施行に伴い、法人としてガバナンス(統治)の強化、公益性・透明性の確保、及び地域福祉の更なる増進に向けた社会福祉法人の制度改革が実施されます。

具体的には、これまで任意設置の諮問機関であった評議員会が必置の議決機関となり、理事会は業務執行機関へとその役割を変え、一般財団法人・公益財団法人と同等以上の公益性を担保できる経営組織への体制変更が行われます。

次に、透明性の確保については、公表の対象に定款や役員報酬基準等を新たに加え、一定規模以上の法人には会計監査人による監査の導入が義務付けられ、それらは国民が情報入手しやすいホームページを活用して公表されることとなります。

また、地域における公益的な取組については、現状では“日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するよう努めなければならない。”とありますが、これに加えて、法人が事業継続に必要な財産を控除した上で再投下可能な財産を明確化し、それを財源として法人が策定する社会福祉充実計画を実行することも織り込まれています。

このように、これまでになく大きな制度改革によって、私たちは盤石なガバナンス・コンプライアンスに依って立つ社会福祉法人を確立し、複雑化・多様化する地域の福祉に応えることが求められています。

一方、慢性的な介護人材不足についても、危機的状況に陥っています。

今の団塊の世代が75歳以上になる2025年は、要介護者も確実に増加すると推測されています。

このことにより、厚生労働省が発表した需給推計によると、2025年度には介護職員が約253万人必要になるとされています。それに対し供給の見込みは約215万人で、およそ38万人の介護職員が不足すると見込まれています。

そして、香川県においては、2013年度で約14,000人が介護職員として就業していますが、2017年度では需要見込み17,100人に対し供給見込みは15,800人(充足率92%)、2025年度では需要見込み約18,900人に対し16,500人の供給見込み(充足率87%)という予測が出され、これは四国四県中最も低い充足率となっています。(全国平均85% 四国四県平均90%)

このような状況の中、介護職員の更なる処遇改善を推し進めるべく、平成29年度は介護報酬の期中改定が実施され、月額概ね1万円の処遇改善が実施される見込みですが、合わせて職員のキャリアアップ制度の構築も大きな課題に挙げられています。

今年度、法人には適切な法改正対応に当たるとともに、課題解決に向けた取組が求められています。

2. 運営方針

「仙遊荘」では、昨年に引き続いて館内の省エネ化を推進し、老朽化している空調・給水設備等の修繕等や快適な住環境整備を進めます。

事業所別では、特別養護老人ホーム及びショートステイにおいては安全な入居生活が過ごせるために、ヒヤリ・ハットや事故の発生案件について検証作業を徹底し、同様事案の発生防止に努めます。

デイサービスでは、認知症予防に向けたレクリエーションの充実を図ると共に、外部からのボランティア訪問を多く受入れ、多様な行事を実施します。

グループホームにおいては、活発な地域交流を行い地域の中で暮らし続ける家としての機能強化を図ります。

「五岳荘」では、重度化する入所者の処遇計画(パッケージプラン)を徹底的に見直し、入所者に適した外部サービス等も効率的に利用しながら入所者への支援を行います。

「まほろば」では、施設運営の理念である「家庭生活の延長線上にある暮らし」を職員一人ひとりが再認識し、理念の上に立った小規模ユニット型特養ならではの個別生活支援を実施します。

法人運営においては、改正社会福祉法に則った法人運営を実施するとともに、新たな処遇改善加算については余すところなく算定し、更なる介護職員の処遇改善を推進します。

本年度は、多様なニーズに対し柔軟性をもって対応し、地域における公的法人としての役割を再認識し、利用者や家族、地域住民が一体となった事業経営を推進してまいります。

II 本部事務局事業計画

1 事業の概要

本部事務局は、法人理念である「敬愛・誠実・奉仕」に沿った法人運営を行えるよう、入居者・利用者に質の高いサービス提供ができる専門性と向上の意欲に満ちた人材の育成に努め、常に改革の視点をもって、効率的運営を行い、信頼される法人を目指すものである。

2 運営方針

本部事務局は、法人理念に加え

- ・将来設計 ……自分の未来を楽しく想像できる職場
- ・法令遵守 ……法令を守り、社会の良識に従った公正かつ透明な事業活動を行う職場
- ・感謝の気持ち ……ありがとうの声を大切にする職場

以上3点を本部事務局の理念とし、運営に関わる多様な制度、法令の範囲内で、職員の成長や処遇の改善を念頭に置いた法人規程の整備や運用を行っていく。

3 重点目標

- (1)新制度に沿った法人制度改革への取組
- (2)施設老朽化対策と省エネ化
- (3)介護人材の確保と更なる処遇改善の推進
- (4)法人の公益性の重視及び地域への貢献
- (5)情報管理体制の強化

4 実施計画

(1)新制度に沿った法人制度改革への取組

- ①評議員会、理事会再編によるガバナンスの強化
- ②積極的な情報公開による経営の透明化
- ③諸規程・マニュアル等の見直し及び、根拠規程に基づくコンプライアンス強化

(2)施設老朽化対策と省エネ化

- ①仙遊荘空調機の省エネ化
- ③五岳荘居住環境の改善と衛生設備の刷新

(3)介護人材の確保と更なる処遇改善の推進

- ①賃金面において制度に沿って改善を実施する。
- ②介護福祉士資格取得や資質向上を目的とした研修について法人全体で支援体制を構築する。
- ③積極的に職員面談を行い、職員の意向を確認し職群変更を希望者する職員には非常勤職員から、常勤職員への職群変更を行う。
- ④EPA(経済連携協定)を利用した外国人介護士の導入促進
- ⑤年齢や経験に囚われず幅広い分野からの人材確保を検討する。

(4)法人の公益性の重視及び地域への貢献

- ①まほろばホールを利用した地域団体との交流活動
- ②地域住民同士の交流の場として福祉会祭りを活用する。
- ③避難施設としての機能充実

(5)情報管理体制の強化

- ①マイナンバー制度に関連する個人情報の管理体制の徹底
- ②職員への個人情報保護についての研修実施

Ⅲ 特別養護老人ホーム仙遊荘事業計画

1 事業の概要

特別養護老人ホームは、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等によって、要介護状態となり援助を要する者について、個々人の能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるように必要な支援を行う。

可能な限り、これまでの生活環境及び生活習慣を継続できるように施設サービス計画に基づく、入浴、排泄、食事等の介護その他日常生活上の援助、機能訓練、健康管理及び療養上の援助を行うことを目的とする。

入居定員50名

2 運営方針

入居者の意思及び人格を尊重し、個別ケアの充実や安心・安全の介護への取り組みを実施する。

明るく家庭的な雰囲気有し、地域や家族との結び付きを重視した運営を行い、効率的な施設運営を行うとともにケアの質の向上を目指す。

善通寺福祉会の持つ専門性・公共性を生かし、地域の福祉活動の拠点とし、地域の人々が安心して住み続けられるよう地域貢献に努める。

3 重点目標

- (1) その人らしい心地良い生活が営めるよう、良質なサービスを提供する。
- (2) 自立支援に向けたケアの取り組み
- (3) 安心・安全に暮らせるように生活環境を整備し、事故防止に努める。
- (4) 感染症対策の徹底
- (5) 福祉の人材育成に努める。
- (6) くもん学習療法を強化し、脳の活性化によりその人らしい生活を送れるよう支援する。

4 実施計画

- (1) その人らしい心地良い生活が営めるよう、良質なサービスを提供する。
 - ① 入居者を少人数のグループに分けユニットケアに準じたサービスを提供する。
 - ② 入居者のライフヒストリーを把握し、その人にあった役割を提供する。
 - ③ 少人数での援助により隠れたニーズを探り、施設生活の充実を図る。
 - ④ 入居者の嗜好別レクリエーションや、希望する個別外出を計画、実施する。
 - ⑤ 入居者が生活していくうえで気軽に職員に声をかけてもらえるような信頼関係を築き、特に声掛けを重点的に職員の対応マナーの向上に努める。
 - ⑥ 看取り期においては、安らかな最期を迎えられるように精神的ケアを重視して苦痛、不安の緩和に努める。
入居者と家族が充実した時間が過ごせるよう環境整備や日々の生活援助を行う。
- (2) 自立支援に向けたケアの取り組み
 - ① 根拠に基づく科学的介護を実践する。
 - 1 骨折ゼロ
 - 2 胃ろうゼロ
 - 3 拘束ゼロ
 - 4 褥瘡ゼロ
 - ② できないことの介護より、できることの介助に重点を置きADL向上を目指す。
 - ③ 自己決定への援助を行う。
 - ④ 随時家族に状態の報告を行い信頼関係の構築に努め、家族からの協力も得ながら、入居者のケアに努める。
 - ⑤ 介護マニュアルを継続的に見直し、ケアの標準化を推進する。
 - ⑥ 外部講師による施設内研修を実施し、職員の知識・技術の向上を図る。

(3)安心・安全に暮らせるように生活環境を整備し、事故防止に努める。

- ①事故要因の検証を行い、本人・職員・環境に関する課題を抽出し改善する。
- ②事故防止を進めていく中で、「入居者の権利擁護」を理解し、差別、虐待、拘束は絶対しない。
- ③転倒の恐れがある者には、離床センサーの設置、衝撃緩和マットの使用を検討し、介護物品を有効に使用する。
- ④特に人命に関わる食事・入浴介助にはより細心の注意を払い、万が一事故が起こった場合は二度と同じ事故が起こらないよう対策を立て、他職種も含めて再発防止策を検討し徹底する。
- ⑤食堂(ホール)や廊下にいる入居者に対しては、常に注意を払い転倒・転落による事故を減らす。
- ⑥事故・ヒヤリハット発生時は、原因の追究・予防策の検討を事故防止委員会、各事業所で行い、事故防止に努める。

(4)感染症対策の徹底

- ①「持ちこまない」「広げない」を徹底として、職員一人ひとりが感染症に対しての意識を高めると共に、委員会で感染症マニュアルの見直しなどを行い職員全員に周知徹底させる。
- ②流行の感染症について、事前に保健所などと連携を密にとり情報収集に努め、早急に症状や感染経路などを分析し感染症予防に努める。
- ③手洗い・うがいの励行、強酸性水にて食事前の手指消毒の実施を徹底する。
- ④入居者の状態観察を行い、異常の早期発見、疾病予防に努める。
- ⑤室温・湿度のチェックを行い快適な居室環境を提供する。
- ⑥面会者、外部業者、事務所職員への感染症への注意喚起を図る。

(5)福祉の人材を育成する。

- ①実習委員会の活動により、実習年間受入れ予定・各担当表により実習内容から目的までを明確にする。
- ②職員一人ひとりがアドバイザーとして学生に関わり助言・指導を行う。
- ③適時カンファレンスを行い、実習進行状況の確認と必要時実習委員会を開催し、問題解決や職員間の意見交換ができるよう取り組む。

(6)くもん学習療法を強化し、脳の活性化によりその人らしい生活が送れるよう支援する。

- ①ケアプランに沿った目標を立てて学習療法を実施する。
- ②全職種全職員が学習支援者となることにより、学習回数を学習者全員週3回以上確保し、また、学習者数の増加に努める。
- ③学習の様子や変化を家族に伝えることで、家族の喜びや信頼づくりに活かす。

<レクリエーション・クラブ活動>

クラブ名	内 容	開催数
書道クラブ	毛筆書写	月1回
お楽しみクラブ	映画鑑賞、カラオケ等	月1回
園芸クラブ	花や野菜などを育てる	半年に1回(水やり都度)
公文式学習療法	計算、読み書きのプリント	週3回以上

<年間行事計画>

	全体行事	フロアー行事	行 事 食
内 容	9月 福祉会祭り	4月 お花見 5月 菖蒲湯 こいのぼり見学	4月 花見 5月 野外食 7月 丑の日
	行事・活動	6月 公園散歩、ドライブ ピクニック	9月 敬老の日 10月 体育の日 12月 忘年会
	おついたち会(毎月) お誕生日会(毎月) ショッピング おやつ作り(毎月) 昼食作り 外食 寺、神社まいり ビューティーセラピー ドライブ 散歩 DVD鑑賞 ホーム喫茶 カラオケ ※その他随時実施	7月 七夕 8月 盆供養 9月 彼岸供養 敬老会 10月 満濃公園コスモスフェスタ 獅子舞見学 11月 菊花展 12月 クリスマス会 忘年会 1月 新年会 鏡開き 2月 節分 バレンタインデー 3月 雛祭り 彼岸供養 ※その他随時実施	1月 おせち料理 七草粥 2月 節分 3月 雛祭り

IV ショートステイ仙遊荘事業計画

1 事業の概要

短期入所生活介護(ショートステイ)事業は、在宅高齢者が心身の状況や介護者の状況(病気、冠婚葬祭、介護疲れ等)により、一時的に在宅での生活が困難になった場合に、特別養護老人ホームに短期宿泊し、入浴、排泄、食事等の介護その他日常生活上の援助、健康管理及び療養上の援助を行うことを目的とする。

利用定員20名。

2 運営方針

利用者の人権を尊重し、利用時に在宅の生活状況を詳細に聞き取り、自立支援のためのケアプランに基づく個別ケアの充実と事故防止に努める。また、食事・入浴・排泄等の介護のみでなく、生活の中での機能維持に対する取り組みや各種行事に参加することで、ADLの維持向上と生活の活性化ができるよう努める。

特別養護老人ホームとの一体的・効率的な運営の中で、利用率の向上を積極的に図る。

3 重点目標

- (1) 個別ケアの充実に努める。
- (2) 多様なニーズをもつ利用者に適切に対応する。
- (3) 効率的な運営を行う。
- (4) 感染症対策の徹底

4 実施計画

- (1) 個別ケアの充実に努める。
 - ① 在宅生活の継続のため、詳細なアセスメントを行い、居宅ケアマネとの連携、居宅サービス計画書に基づいた援助を行う。
 - ② 生活の中での残存機能の活用によるADL維持向上、他者との交流による生活の活性化など良質なサービス提供に努める。
 - ③ 退所時には家族に利用時の状態報告、注意点などを報告し、必要に応じて助言、相談などを行う。
- (2) 多様なニーズをもつ利用者に適切に対応する。
 - ① 季節行事への参加等のサービスを提供するために、予約時にきめ細かに情報を提供し参加の促進を図る。
 - ② 重度の認知症や医療的配慮の必要な在宅高齢者を柔軟に受入れ、安全な利用のために、ケアマネジャー、主治医、家族等と十分な情報交換を行い、対応方法を確認して適切な処遇と事故予防に努める。
 - ③ 独居や家族の疾病などの緊急性の高い高齢者を受入れ、多くの方が利用できるように運営する。
- (3) 効率的な運営を行う。
 - ① ケアマネジャーと緊密な連携を取り、特別養護老人ホームの空床利用を積極的に行い、常に満床を維持し効率的な運営に努める。
 - ② キャンセルや日程変更、短時間利用等に適切に対応できる柔軟な受入れの仕組みを整え利便性・効率性の向上に努める。
- (4) 感染症対策の徹底
 - ① 併設の特別養護老人ホームと同様の対策を実施する。

V 仙遊荘デイサービスセンター事業計画

1 事業の概要

利用者が施設に通い、入浴や食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練などを提供する。利用者の在宅生活の支援、社会的孤立感の解消、心身機能の維持、向上を目指すとともに、介護する家族の身体的精神的負担の軽減を図ることを目的とする。

利用者の意思及び人格を尊重し、生きがいの増進等を図る支援を行い、適正な指定通所介護(予防)事業を実施する。

利用定員30名(月～金) 15名(土)

2. 運営方針

理念である利用者の声を聴き、想いに気づき日々のサービスに繋げていく。人との触れ合いを大切にし、身体を動かし、心身ともにいつまでも元気に地域の中で、また、住み慣れた自宅で暮らし続けることができるように総合的なサービスを提供する。

3 重点目標

- (1)利用者の状態を知り関わりのヒントを得て、心に残るレクリエーション及び認知症予防のレクリエーションの実施を実施する。
- (2)認知症予防、進行予防につながるレクリエーションを行う。
- (3)四季の移り変わりを利用者と共に過ごし感じる工夫を行う。
- (4)利用者一人ひとりとかかわる時間を大切にする。
- (5)職員のモチベーションを上げる工夫

4 実施計画

- (1)利用者の状態を知り関わりのヒントを得て、心に残るレクリエーション及び認知症予防のレクリエーションの実施を実施する。
 - ①利用日の健康状態を把握し、状態の変化等を家族や居宅ケアマネージャーに情報提供を行い対応に繋げる。
 - ②一人ひとりの性格にも着目し、好きな歌や好みを知り楽しめるレクリエーションを計画する。
 - ③利用者の心身の状態を把握し、一人ひとりにあった笑顔になる個別レクリエーションを計画する。
 - ④家族や居宅ケアマネージャーから利用者の生活歴や社会心理、人生観などの情報をいただきレクリエーションに繋げていく。
 - ⑤コミュニケーションロボット『パルロ』を使用して楽しく身体を動かし、筋力強化を図り、元気に住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るように努める。
- (2)認知症予防、進行予防につながるレクリエーションを行う。
 - ①利用者一人ひとりを尊重し、ありのままを受け入れ、寄り添い、信頼関係構築に努める。
 - ②利用時間は活動的な時間とやすらぎやくつろぐ時間を持ち、心身のバランスを調整する。
 - ③右脳を使うレクリエーション(音楽や芸術、歌など)を中心にプログラムを考え、重度の認知症であっても自己表現できる力や、他者に何かをしてあげようとの思いを持つこと、喜びの表現やユーモアの創造等、感情表現ができることを目指す。
 - ④傾聴を心がけ優しい言葉かけと明るく楽しい雰囲気作りに努める。
 - ⑤神経心理テストを取り入れ利用者の認知面の状態を把握し、『かなひろい遊び』などの遊ビリテーションに繋げていく。
 - ⑥一人ひとりの能力が発揮できる目標や必要な支援について計画を立て(通所介護計画書や個別機能訓練計画書)実践の支援を行う。

(3) 四季の移り変わりを利用者と共に過ごし感じる工夫を行う。

- ① 季節感を感じることができる行事やフロアのレイアウトを工夫する。
- ② 昼食メニューにも季節感のある食材や献立の提供を行う。
- ③ 入浴には『お楽しみ風呂』を継続し、季節に合った食物や入浴剤を用いてゆったりとした時間を提供する。

(4) 利用者一人ひとりとかかわる時間を大切にする

- ① ハンドマッサージやネイル、茶話会を取り入れ職員がゆったりと利用者に関わり、肌に触れる。
暖かさを感じていただき利用者一人ひとりと会話をする時間を持ち想いを知る機会にする。
- ② 職員は利用者へ愛情を持ち人生の先輩としての配慮と気遣いを示し、誠実に関わる。
利用日は毎回『今日のみの利用』の思いを持ち、一緒に楽しむ時間を大切にする。

(5) 職員のモチベーションを上げる工夫

- ① 利用者から「楽しかった・また来たい」と思える関わり目指し、職員自身が明るい環境作りに努める。
- ② 職員一人ひとりが介護の知識と技術を高め、自らの言葉で思いを発言できる機会を月1回(職員ミーティング)設け、情報を共有し前進できるように努める。
- ③ 利用者が安全に過ごせる関わりを基本にし、事故防止に努め危機管理を十分に行う。また、職員同士も常に相手を思いやり『阿吽』の呼吸でお互い気持ちよく業務に携われるように、心身の健康状態にも気を配る。
- ④ 職員一人ひとりが学びたい分野の研修に参加し、知識向上を目指す。

〈レクリエーション・クラブ〉

教室名	内容	開催数
書道教室	硬筆・毛筆	週2回
元気はつらつ教室	体操	月2～4回
おやつ作り		月1～2回
音楽レク	歌、楽器演奏	月2回
作品作り	手芸、折り紙	月1回(随時)
絵手紙		月2回
笑いヨガ		月1回
健康相談	看護、介護相談	月1回(随時)
カナン子育てプラザ 21	歌、ふれあい	月1回

〈ボランティア〉

ボランティア名	団体名	開催数
大正琴コンサート	アンサンブル向日葵	年1回～2回
ハンドベルコンサート	善通寺看護学校ボランティア	年1回
健康教室	ヤクルト	年1回～2回
癒しのタッチ	癒しのタッチ	3か月に1回
ふれあい訪問	善通寺市婦人会	月1回～2回
お茶会	尽誠学園ボランティア	年2回
オカリナコンサート	ウィズユー	年2回
善通寺校区小学生訪問	小学生訪問	年1回
善通寺校区幼稚園児訪問	幼稚園児訪問	年1回

〈その他〉

交通安全講習		年2回
--------	--	-----

VI グループホーム仙遊荘事業計画

1 事業の概要

グループホームは、入居者に対し、可能な限り共同生活住居において、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、入浴・排泄・食事等の介護、その他の日常生活上の支援および機能訓練を行うことにより、入居者が有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目指すものである。

利用定員9名。

2 運営方針

入居者一人ひとりの意思と人格を尊重し、個別ケアの充実とその人らしさを考えた介護への取り組みを実施し、明るく家庭的な雰囲気の中で、地域や家族との結び付きを重視すると共に、『和顔愛語』の理念のもと、『第2の我が家』をコンセプトに、暖かさと居心地の良さを目指す。

職員は認知症の介護経験を有するとともに、定められた研修を受け、自らのサービス内容を評価し、常に介護サービスの質の向上に努める。

また地域に開かれた事業運営を行うため、入居者家族や地域関係者をメンバーとした運営推進会議の中で、提供しているサービス内容を点検し、グループホームの特徴を生かし新たな取り組みの導入により地域貢献を目指す。

3 重点目標

- (1) 家族とのつながりを大切にし、入居者一人ひとりの日課に合わせ、在宅であればあたり前の暮らしの実現に努める。
- (2) 地域交流を活発にし、地域の中で暮らし続ける家としての機能を目指す。
- (3) 認知症ケアの質の向上を目指す。
- (4) 主治医と連携を図り、健康維持に努め、最期まで自分らしい暮らしを継続する。

4 実施計画

- (1) 家族とのつながりを大切にし、入居者一人ひとりの日課に合わせ、在宅であればあたり前の暮らしの実現に努める。
 - ① 入居者が安心して生活するために、これまで同様に情報の共有を図り、家族との連携により入居者を囲む職員と家族の関係性をこれまで以上に透明にする。
 - ② 一人ひとりの日課に合わせた生活支援を行う中で、一人ひとりの生活動作の目標(ケアプラン)を立て、機能の維持向上を目指す。
 - ③ 入居者の嗜好に応じ、和洋中と豊富なメニューを提供し、それぞれの入居者の身体状況に合った食事形態を随時検討し、食べる楽しみを持ち続けられるように支援する。また、家庭菜園を楽しみ、収穫の喜びやメニューを入居者と考える機会を持つ。
 - ④ 入居者の誕生日や季節の行事には、家族の参加と協力のもと実施する。長寿を入居者全員でお祝いし、一人ひとりの尊厳を大切にする。
 - ⑤ 入居者から家族へ、家族から入居者へ感謝を伝える場を作り、いつまでも父、母で頼られる存在であり続けられるように、また家族とのつながりの場のお手伝いをする。
- (2) 地域交流を活発にし、地域の中で暮らし続ける家としての機能を目指す。
 - ① いつまでも元気で暮らしの中に地域行事に参加し、楽しみのある生活を支援する。
 - ② 行きつけの店への買い物や外食、外出を楽しむことにより地域との関係が途切れないように援助する。
 - ③ 2か月毎に開催する運営推進会議では、日々の暮らしを報告し、入居者の暮らしやサービス内容について、また新たな支援の構築を考える場としての機能を果たす。
 - ④ 毎月の市内婦人会の訪問では、ハンドセラピーの実施を新たに取り入れる。
 - ⑤ 地域の方との交流を活発にするために、ボランティアの協力を得てホーム喫茶を新たに始め、ゆくゆくの認知症カフェ導入を目指す。

(3) 認知症ケアの質の向上を目指す。

- ① 認知症ケアの先進的な知識や対応方法など研修を通じて理解・習得し、個々の状況にあったケアプランを作成し実践する。
- ② 認知症ケアが職員の自己満足にならないためにも自己評価を常に行い、積み重ねていく努力と取り組む姿勢を振り返り、生活の質の向上につなげる努力を行う。
- ③ 私物の囲まれた居室づくり、空間づくりにより入居者が安心して暮らせるように努める。
- ④ 入居者が最も自分らしくあった時代に戻って暮らせるように、個々の役割を充実させることと併せ、グループホームでの生活がより楽しく明るい将来への希望に繋がるよう支援する。
- ⑤ くもん学習療法の継続と、脳の活性トレーニングによりその人らしい生活が送れるよう支援する。
- ⑥ アニマルセラピー(犬、猫)の継続により『癒し』を得て、心理的な安心と精神的な健康を回復し、QOLの向上につなげる。

(4) 主治医と連携を図り、健康維持に努め、最期まで自分らしい暮らしを継続する。

- ① 日々の健康チェックを行い、体調の変化を見極める観察力を持ち、特養看護の協力にて、異常の早期発見、早期治療に努める。
- ② 受診や往診時は、主治医や家族と情報の共有や連携を図り、穏やかな暮らしを提供する。
- ③ 感染予防対策を徹底して取り組むとともに、保健所等が開催する研修に参加し、情報収集を行い実践する。
- ④ 生活の中にラジオ体操や散歩を取り入れて、体力の維持を図る。また、下肢筋力を強化するため一人ひとりの日課に合わせて運動を取り入れるとともに住環境を整えて、転倒事故を防止しADLの維持に努める。
- ⑤ 終末期になっても、入居者が望む暮らしのサポートを家族、主治医と連携を図り取り組む。終末期介護について勉強会の参加と、救急蘇生法の定期的な勉強会を継続し、グループホーム仙遊荘の看取りに関するマニュアルを見直す機会を持つ。
- ⑥ 家族会において医療連携シートを家族と共に作成し、緊急時に備える。

<年間行事計画>

	定例行事・活動	フロアー行事	行事食
内 容	(随時) お誕生日会 外食 ドライブ・散歩 ショッピング (年6回) 運営推進会議	4月 お花見 5月 家族交流会 6月 菖蒲湯 7月 七夕 8月 夏祭り 盆供養 9月 敬老会 12月 クリスマス会	4月 花見 5月 家族会 五月の節句 7月 丑の日 8月 八朔馬 お彼岸 9月 敬老の日 10月 お月見 12月 忘年会
	地域交流	1月 新年会 2月 節分 3月 雛祭り 彼岸供養	クリスマス会 年越しそば 1月 お節料理 七草粥
	(年1回) 御地藏様の前掛け奉納 中央公民館まつり参加 (随時) 癒しのタッチ カナン子育てプラザ21交流 ホーム喫茶 野外食 (週2回) アニマルセラピー 婦人会ふれあい訪問	※その他随時実施	2月 節分 3月 桃の節句

Ⅶ 老人介護支援センター仙遊荘事業計画

1 事業の概要

居宅介護支援事業は、ケアマネージャーが要介護認定者に適正な居宅サービス計画(ケアプラン)を作成することを通して、介護を必要とする高齢者が心身の能力を最大限生かし、可能な限り自立し、その人らしく生活できるよう支援する事業である。

2 運営方針

社会福祉サービスの諸制度や援助の在り方について、今後の動向をしっかりと見極めて支援を行うとともに、利用者の生活課題の多様化、複雑化に伴い、支援においては他職種連携やネットワークの重要性を再認識し、福祉にかかわる専門職として果たすべき役割を模索し、利用者の望む暮らしを実現するためのソーシャルワークの実践を目指す。

3 重点目標

- (1) 対人援助サービスの向上を図る。
- (2) ケアマネジメント力を向上する。
- (3) 医療関連機関との連携強化を図る。
- (4) 地域貢献につながる活動を行う。

4 実施計画

- (1) 対人援助サービスの向上を図る。
 - ① インテークの場面においては状況を洞察し、利用者、家族と共に問題解決に向けての対応やアドバイスにより相互信頼関係を生み出せるように努める。
 - ② 自己実現に向けた質の高い援助を考える。ケアマネージャーの専門性を磨き、面接技術に裏付けられた情報の収集分析力を向上させる。
 - ③ 利用者の言動を把握し、利用者が『何を言ったか』に重点を置くのではなく『何を伝えたいのか』に重点を置く援助技術や『傾聴』の技術を磨く。
- (2) ケアマネジメント力を向上する。
 - ① 目標の明確化と共有により、望む暮らしの実現に向けた支援、目標志向型ケアマネジメントを目指す。
 - ② ニーズの明確化により『全てのことを援助する』という考え方ではなく、利用者の可能性を見つけそれを活用する『エンパワメント・アプローチ』を実践する。
 - ③ 利用者のニーズに基づくケアマネジメントのプロセスをきちんと実施し、自立と QOL 向上を目標として、各種サービスを合理的かつ効率的に達成されることを目指す。
 - ④ ケアマネジメントの知識の理解を深める研修を受ける。また、認定調査及び認定審査会の研修や、市内外問わずケアマネ連絡会等への参加により、制度の動向を常に注視して業務を行う。
 - ⑤ 非常災害時にはケアプランで記されている各種サービス提供事業者と連携を図り、利用者の安全に努める。また近隣住民や地区民生委員、消防、社会福祉施設等との連携を日常より図り、緊急時の応援、協力体制に努める。
- (3) 医療関連機関との連携強化を図る。
 - ① 利用者の主治医と連携を深め、医療的観点から主治医の意見をケアプランに反映させる。
 - ② 利用者の入院時には当該病院等へ医療連携シートを用いて情報提供を行い、退院、退所に当たっては必要な情報の提供を受けた上でケアプランを作成する。
- (4) 地域貢献につながる活動を行う。
 - ① 新しい福祉ニーズを知り、支援を必要としている地域住民に対しては自立の援助により地域福祉の向上に貢献できるように、善通寺福祉会の一員として活動参加、協力を努める。
 - ② 看護学校や病院関係者の研修、臨地実習の受け入れにより、介護保険制度やケアマネジメントのプロセス、

社会資源等について伝える機会を持つと共に、自身のマネージメントを振り返り、常に知識の向上に努める。

5 居宅サービス計画作成目標数

<月平均居宅サービス計画作成見込件数>

	平成 29 年度
老人介護支援センター仙遊荘	50 件

VIII 生計困難者に対する相談支援事業事業計画

1 事業の概要

本事業は社会福祉法人として目に見える形で公益活動を実践するために、地域の支援を必要とする人に対する相談活動を活発化し、関係機関との連携を十分に行い、相談活動を行う中で、支援を必要とする人の心理的不安の軽減を図り必要な制度、サービスにつなげる。

2 運営方針

香川県内の主要福祉団体によって設置された、香川おもいやりネットワーク事業に参加し、他の社会福祉施設や社会福祉協議会と連携し、地域のニーズに対応しながら社会福祉法人の責務としての「地域における公益的な取組」をめざす。

3 重点目標

- (1)総合相談・支援事業
- (2)地域のネットワーク体制づくり
- (3)相談・支援担当者等の研修参加

4 実施計画

(1)総合相談・支援事業

- ①「生活のしづらさ」を抱え支援が必要な者への相談受付
- ②社会福祉施設の機能や強み等、社会資源を活かした支援の実施
- ③必要に応じて緊急的な支援である現物支給の実施

(2)地域のネットワーク体制づくり

地域で開催される会議等への参加し情報を共有すると共に、互いの顔の見える関係を構築する。

(3)相談・支援担当者等の研修参加

- ①相談・支援担当者の養成研修や、スキルアップ研修への参加促進
- ②社会福祉施設が持つ知識や専門技術を積極的に地域へ伝え、福祉教育を推進する。

IX 養護老人ホーム五岳荘事業計画

1 事業の概要

養護老人ホーム五岳荘は、環境上の理由及び経済的理由により、在宅において日常生活を営むのが困難な65歳以上の高齢者に対して、その者が自立した生活を営み、社会的活動に参加するための適切な支援を行う。また、要介護、要支援状態にある者に対しては介護保険を利用し外部サービスを通じて、身体介護・生活援助を行う。

ふれあいサロン五岳は、市内在住のおおむね65歳以上の高齢者で、介護保険制度の要介護認定において、要支援又は要介護と認定された方以外の高齢者に自立した日常生活の助長及び介護予防の促進を図るためのサービスを提供する。

入所定員 50名

2 運営方針

近年、高齢化に伴う重介護対応、認知症や精神疾患を伴う入所者の増加、生活困窮や家族間の問題など様々な生活課題を抱えた方などニーズの多様化、複雑化などにより、その状態・ニーズに沿った個別的な支援が必要とされている。

そのため、福祉事務所をはじめ関連機関と連携し、職員の専門性を強化することによりソーシャルワーク機能を高め、地域包括ケアシステムにおける必要不可欠なセーフティネットとしての高齢者施設を目指していく。

特に、生活管理指導短期宿泊事業においては積極的な受入を行い、退所後にその人が自立・充実された生活が送れるような支援を行う。

3 重点目標

- (1)入所者のための明るく楽しい生活の場の提供
- (2)安全で安心した生活が送れる施設への実現化
- (3)地域の中での交流の場

4 実施計画

(1)入所者のための明るく楽しい生活の場の提供

- ①入所者の日常生活相談や悩み等も聞きながら解決策を講じる。
- ②サービス提供や体調面など家族と連絡を取りながら、家族の意見等も反映した支援ができるように努める。
また、自立が困難な入所者に対しては、要介護認定の申請を行い、介護サービスを受けることで外出機会を増やし、本人のQOL向上につなげる。
- ③施設内において充実した生活が送れるように、できる限り入所者が自主的に参加できるようなクラブ活動、行事を企画立案し、余暇活動の充実を図る。
- ④毎月1回給食委員会を開催し、日常の食事や行事食に関して入所者の意見を聞き、入所者の嗜好の把握に努める。

(2)安全で安心した生活が送れる施設への実現化

- ①感染症対策委員会に参加して意見交換を行うとともに、職員ミーティングにおいては、感染症対策研修を年1回以上実施し、感染症予防の意識を高める。
また、感染症のシーズンに加え、流行外の時期にも居室、廊下共用部の消毒を徹底し、予防に努める。
- ②普段から事故報告書、ヒヤリハット報告書を作成し、全ての報告に対し事業所内で検証を行い、それらを事故防止対策委員会において再検証して事故防止・予防の意識を高める。
- ③主治医との連携を強化し、看護職員、支援員全員が服薬管理、バイタル測定を行うことにより入所者の健康状態を把握し健康管理に努める。
- ④消防計画に基づき、年2回の職員、入所者参加の防火・避難訓練とシェイクアウト防災訓練を実施し、日頃より防火・防災についての周知を図る。

(4) 地域の中での交流の場

- ①各市町の地域包括支援センターに出向き、養護老人ホームの存在・意義を説明するなどの働きかけを行い、各地域との交流のきっかけを作る。
- ②施設と地域社会を結ぶ「かけ橋」の役割を担ってくれるボランティアの方々を積極的に受入れることにより、入所者の生活の質を高める支援や、地域の拠点として開かれた施設づくりに繋げる。

《 年間事業計画 》

定例行事	年間行事	行事食
入所者相談日（毎月）	4月 お花見	4月 お花見会食
ホーム内清掃	防火訓練	6月 レストラン外食
廊下 月3回	5月	7月 七夕まつり会食
食堂、冷蔵庫 月3回	6月 ショッピング&	土用の丑の日会食
ショッピング 月1回	食事会	8月 納涼大会会食
買い物日 月2～3回	7月 七夕まつり	9月 敬老会会食
お菓子販売 月1～2回	8月 盆供養（御磨き）	11月 紅葉狩り外食
誕生会 月1回	納涼大会	12月 クリスマス会食
ミニ散歩（気候の良い時期）	9月 敬老会	1月 御節料理
散髪 月1回	10月 運動会	七草粥
健康診断 年2回	防火訓練	新年会
結核検診 年1回	11月 紅葉狩り	とんど焼
健康調査 毎月	12月 クリスマス会	2月 節分会食
尿検査 年2回	餅つき	3月 雛祭り会食
インフルエンザ予防接種 1回	御磨き	
害虫駆除 年2回	1月 新年会	
	初詣	
	とんど焼	
	2月 節分	
	3月 雛祭り	
	お守り配布	
	※その他随時実施	

《 レクリエーション 》

クラブ名	開催数
音楽クラブ	月1回
映画鑑賞クラブ	月1回
カラオケクラブ	月2回
元気ハツラツ教室	月2回
筆ペンクラブ	月1回

《 ボランティア組織 》

ボランティア名	内容	開催予定数
南ファミリー劇団	舞踊・歌謡	年 1回
ひまわり会	舞踊・歌謡	
西仙カラオケ同好会	歌謡	
隊友会	歌謡	
中央長寿会	舞踊・歌謡・うどん接待	
市立竜川小学校（5年生）	交流会	
県立善通寺第一高等学校	交流会	
市立東部小学校（1年生）	交流会	
市内獅子組（5組）	獅子舞	
西部婦人会・西部幼稚園	交流会	
筆岡婦人会	歌謡・抹茶接待	
山崎久志様	カーネーション寄付	

X 特別養護老人ホームまほろば事業計画

1 事業の概要

特別養護老人ホームまほろばは、居室やリビングなどの住環境と、利用者中心の暮らしを育むケア、そしてチームケアを推進する勤務体制この3つの要素を実践するために少人数ケア体制を構築し、利用者一人ひとりの個性や生活のリズムに沿ったケアを行い、入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したものとなるように支援すると共に自律的な日常生活を営むことを目的とする。

入居定員30名

2 運営方針

介護が必要となっても、自宅に住み、地域のなかで家族や親しい人たちと共に、不安のない生活を送りたいという希望を実現するために「家庭生活の延長線上にある暮らし」を理念とし、可能な限り住み慣れた環境のなかでそれまでと変わらない生活を続け、最後までその人らしい人生を送ることができるよう支援を行う。

3 重点目標

- (1) ユニットケアを正しく理解する。
- (2) しつらえにこだわり「らしさ」を大切にする。
- (3) なじみの関係構築のために入居者を様々な視点からアセスメントする。
- (4) 入居者主体による柔軟な勤務体制の確立
- (5) 管理栄養士による栄養管理
- (6) 入居率向上の取組

4 実施計画

- (1) ユニットケアを正しく理解する。
 - ① 施設理念を再認識し、理念に基づいた処遇計画を策定する。
 - ② ユニットミーティングにおける意見交換の実施
 - ③ 24時間シートを使い、安全で健康的な生活を24時間体制にて支援して行き記録との連動により、ケアの統一化と質の向上を図る。
- (2) しつらえにこだわり「らしさ」を大切にする。
 - ① リビングらしさ、トイレらしさ、キッチンらしさ等それぞれの部屋の機能を入居者へわかりやすくしつらえる。
 - ② ユニット内の装飾が、幼くならない様に高齢者の生活空間として落ち着きある空間をつくる。
 - ③ 入居者の個性をしつらえで表現する。
 - ④ パブリックスペース、セミパブリックスペースを家族や外部との交流が促進できる空間としての活用する。
- (3) なじみの関係構築のために入居者を様々な視点からアセスメントする。
 - ① 入居者家族会を通じ、積極的に家族が施設に係われる関係を築く。
 - ② 入居者の生きてきた時代を知り、どのようなときに心地よいと感じるかを察知し情報を共有する。
 - ③ 本人や家族との対話において「聞く姿勢」を重視し、「なじみの関係」になれるように情報を共有する。
- (4) 入居者主体による柔軟な勤務体制の確立
 - ① 入居者一人ひとりの暮らし方を知る為に24時間シートを使った情報の共有を行う。
 - ② ユニット別に独自勤務体制を構築するとともに、短時間勤務等の対応も実践する
 - ③ 専門職による多職種協働ケアを実践し生活・健康・食事の質向上を目指す。

(5) 管理栄養士による栄養管理

- ① 管理栄養士が1か月ごとに献立を作成し、健康面に配慮した栄養管理を実施する。
- ② ご飯を炊き、盛り付けをし、みんなで食べ、洗い物をする。
これまでの生活と同じ食事風景を展開し、五感を刺激して楽しい食事提供を実施する。
- ③ 手作り副菜など提供し その季節ごとの旬の食材を使い、季節感を演出する。
- ④ 入居者に嗜好調査を実施し、献立作成に繋ぎ合わせる。

(6) 入居率向上の取組

利用率95%以上を維持する。

X I 公益を目的とする事業の実施計画

1 ゆったり温泉仙の湯

ゆったり温泉仙の湯は、善通寺市老人無料入浴券等交付要綱に基づき公布された老人無料入浴券及びいきがい入浴券での利用に加え、一般市民の利用も含めた施設利用を通じて、高齢者が相互のコミュニケーションを深めることによって、健康の増進を図り、仲間づくりや生きがいづくりの促進につなげる。

2 ふれあいサロン五岳

ふれあいサロン五岳は、善通寺市在宅高齢者介護予防・生活支援事業実施要綱に基づき市内在住のおおむね65歳以上の高齢者で、介護保険制度の要介護認定において、要支援又は要介護と認定された方以外の高齢者に対し、通所サービスを提供することにより当該高齢者の自立的生活の助長、社会的孤立感の解消及び要介護状態になることへの予防促進を図る。

ⅩⅡ 仙遊荘拠点区分 資金収支予算書内訳表
(自)平成29年 4月 1日 (至)平成30年 3月31日

(単位:円)

勘定科目	前年度予算額	今年度予算額	比較	概要	サービス区分							内部取引消去
					法人本部	特別養護老人ホーム仙遊荘	ショートステイ仙遊荘	仙遊荘デイサービスセンター	グループホーム仙遊荘	老人介護支援センター仙遊荘	入浴施設福祉事業(ゆったり温泉仙の湯)	
介護保険事業収入	359,500,000	372,080,000	12,580,000			205,200,000	67,300,000	48,080,000	41,900,000	6,300,000	3,300,000	
施設介護料収入	158,000,000	159,500,000	1,500,000		159,500,000							
介護報酬収入	141,800,000	143,000,000	1,200,000		143,000,000							
利用者負担金収入(公費)	1,200,000	1,500,000	300,000		1,500,000							
利用者負担金収入(一般)	15,000,000	15,000,000	0		15,000,000							
居宅介護料収入	81,880,000	85,300,000	3,420,000			50,000,000	35,300,000					
(介護報酬収入)	72,800,000	79,800,000	7,000,000			44,800,000	35,000,000					
介護報酬収入	67,500,000	76,000,000	8,500,000			43,000,000	33,000,000					
(利用者負担金収入)	5,300,000	3,800,000	△ 1,500,000			1,800,000	2,000,000					
介護負担金収入(公費)	9,080,000	5,500,000	△ 3,580,000			5,200,000	300,000					
介護負担金収入(一般)	80,000	5,200,000	△ 80,000			5,000,000	200,000					
介護負担金収入(一般)	1,000,000	300,000	△ 700,000			200,000	100,000					
地域密着型介護料収入	29,000,000	29,000,000	0						29,000,000			
(介護報酬収入)	26,000,000	26,000,000	0						26,000,000			
介護報酬収入	26,000,000	26,000,000	0						26,000,000			
(利用者負担金収入)	3,000,000	3,000,000	0						3,000,000			
介護負担金収入(一般)	3,000,000	3,000,000	0						3,000,000			
居宅介護支援介護料収入	5,900,000	6,300,000	400,000							6,300,000		
居宅介護支援介護料収入	5,900,000	6,300,000	400,000							6,300,000		
介護予防・日常生活支援総合事業収入	3,020,000	7,680,000	4,660,000				7,680,000					
事業費収入	2,700,000	6,880,000	4,180,000				6,880,000					
事業費収入	320,000	800,000	480,000				800,000					
事業費収入(一般)	77,600,000	80,600,000	3,000,000				17,300,000					
利用者等利用料収入	3,700,000	3,700,000	0				1,000,000					
施設サービス利用料収入	1,000,000	1,000,000	0				3,000,000					
居宅介護サービス利用料収入	3,000,000	3,000,000	0				13,000,000					
地域密着型介護サービス利用料収入	16,800,000	16,000,000	△ 800,000				12,000,000					
食費収入(公費)	23,900,000	27,400,000	3,500,000				6,000,000					
食費収入(一般)	8,500,000	8,900,000	400,000				7,600,000					
居住費収入(公費)	18,600,000	18,200,000	△ 400,000				9,000,000					
居住費収入(一般)	2,100,000	2,400,000	300,000				4,200,000					
その他の利用料収入	4,100,000	3,700,000	△ 400,000				1,800,000					
その他の事業収入	400,000	400,000	0				400,000					
受託事業収入	3,300,000	3,300,000	0				400,000					
入浴施設経営非事業収入	400,000	400,000	0				400,000					
その他の事業収入(介護・その他)	200,000	200,000	0									200,000
香川おもいやりネットワーク事業収入	200,000	200,000	0									200,000
香川おもいやりネットワーク事業収入	200,000	200,000	0									200,000
事業収入	2,350,000	750,000	△ 1,600,000		450,000							
経営経費借付金収入	70,000	30,000	△ 40,000									
受取利息配当金収入	1,700,000	1,700,000	0									
その他の収入	500,000	500,000	0									
受入研修費収入	1,200,000	1,200,000	0									
雑収入	363,820,000	374,760,000	10,940,000		450,000							
事業活動収入計(1)					450,000	206,830,000	67,300,000	48,380,000	42,000,000	6,300,000	3,300,000	200,000

ⅩⅡ 仙遊荘拠点区分 資金収支予算書内訳表
(自)平成29年 4月 1日 (至)平成30年 3月31日

(単位:円)

勘定科目	前年度予算額	今年度予算額	比較	摘要	サービス区分							生計困難者に対する相談支援事業	内部取引消去
					法人本部	特別養護老人ホーム仙遊荘	ショートステイ仙遊荘	仙遊荘デイサービスセンター	グループホーム仙遊荘	老人介護支援センター仙遊荘	入浴施設福祉事業(ゆったり温泉仙の湯)		
人件費支出	207,720,000	232,420,000	24,700,000		400,000	121,000,000	43,250,000	32,850,000	27,880,000	6,760,000	280,000		
役員報酬支出	400,000	400,000	0		400,000								
職員給与支出	123,090,000	138,340,000	15,250,000			70,000,000	27,000,000	18,000,000	18,560,000	4,500,000	280,000		
職員賞与支出	25,360,000	28,840,000	2,840,000			14,000,000	5,300,000	4,000,000	3,600,000	1,300,000			
非常勤職員給与支出	22,650,000	24,200,000	1,550,000			13,000,000	4,000,000	6,000,000	1,200,000				
派遣職員費支出	4,600,000	8,520,000	3,920,000			6,000,000	1,800,000	1,800,000	720,000				
退職給付支出	3,520,000	3,160,000	△ 360,000			2,000,000	150,000	550,000	400,000	60,000			
法定福利費支出	28,100,000	29,600,000	1,500,000			16,000,000	5,000,000	4,300,000	3,400,000	900,000			
事業費支出	64,341,000	69,311,000	4,970,000			40,453,000	13,180,000	6,590,000	7,017,000	20,000	1,851,000		200,000
給費支出	23,095,000	24,800,000	1,705,000			15,000,000	5,000,000	2,000,000	2,800,000				
介護用品費支出	2,800,000	2,800,000	0			2,000,000	800,000						
医薬品費支出	947,000	947,000	0			900,000		30,000	17,000				
医装衛生費支出	380,000	380,000	0			350,000		30,000	30,000				
被服費支出	5,000	33,000	28,000			3,000		30,000	30,000				
教養娯楽費支出	1,300,000	1,400,000	100,000			700,000		600,000	100,000				
水道光熱費支出	19,430,000	20,500,000	1,070,000			11,000,000	4,000,000	1,600,000	2,100,000		1,800,000		
燃料費支出	80,000	230,000	150,000			200,000		30,000					
消耗器具備品費支出	6,360,000	9,560,000	3,200,000			5,200,000	2,000,000	700,000	1,400,000	20,000	40,000		200,000
保険料支出	2,094,000	2,091,000	7,000			1,200,000	180,000	600,000	100,000		11,000		
賃借料支出	6,200,000	5,700,000	△ 500,000			3,300,000	1,000,000	1,000,000	400,000				
車庫費支出	1,660,000	870,000	△ 790,000			600,000	200,000	200,000	70,000				
事務費支出	44,295,000	45,040,000	745,000		50,000	26,580,000	6,410,000	6,920,000	3,030,000	320,000	1,500,000		200,000
福利厚生費支出	4,945,000	5,650,000	705,000			3,000,000	1,000,000	800,000	700,000	150,000			
職員被服費支出	300,000	260,000	△ 40,000			200,000		30,000	30,000				
旅費交通費支出	310,000	110,000	△ 200,000			100,000	10,000	200,000	200,000				
研修研究費支出	1,915,000	1,980,000	65,000			1,500,000		40,000	300,000	80,000			
事務消耗品費支出	370,000	370,000	0			300,000		40,000	300,000				
修繕費支出	6,226,000	8,200,000	1,974,000			6,000,000	600,000	800,000	800,000				
通信運搬費支出	980,000	980,000	0			600,000	90,000	150,000	60,000	80,000			
会議費支出	50,000	50,000	0		20,000	30,000							
広報費支出	29,000	30,000	1,000			12,220,000	4,340,000	4,240,000	940,000		1,500,000		
業務委託費支出	25,469,000	23,340,000	△ 2,129,000										
手数料支出	1,000	1,000	△ 1,000										
租税公課支出	700,000	600,000	△ 100,000			500,000	400,000	100,000	160,000				
保守料支出	1,560,000	1,960,000	400,000			1,000,000		400,000	400,000				
渉外費支出	450,000	450,000	0		30,000	300,000		100,000	20,000				
謝金費支出	520,000	550,000	30,000			300,000		30,000	40,000				200,000
雑支出	470,000	510,000	40,000			400,000	10,000	50,000	50,000	10,000			
支払利息支出	1,356,000	1,019,000	△ 337,000			160,000	280,000	280,000	210,000	49,000			
事業活動支出計(2)	317,712,000	347,790,000	30,078,000		450,000	188,193,000	63,150,000	46,680,000	38,137,000	7,149,000	3,631,000		400,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	46,108,000	26,970,000	△ 19,138,000		0	18,637,000	4,150,000	1,700,000	3,863,000	△ 849,000	△ 331,000		△ 200,000

ⅩⅡ 仙遊荘拠点区分 資金収支予算書内訳表
(自)平成29年 4月 1日 (至)平成30年 3月31日

(単位:円)

勘定科目	前年度予算額	今年度予算額	比較	概要	サービス区分							入浴施設提供事業 (ゆったり温泉館 の別)	生計困難者に対す る相成支援事業	内部取引消去	
					法人本部	特別養護老人 ホーム仙遊荘	ショートステイ 仙遊荘	仙遊荘デイ サービスセンター	グループホーム 仙遊荘	老人介護支援 センター仙遊荘					
施設整備等補助金収入	0	10,950,000	10,950,000			7,500,000	3,000,000			450,000					
施設整備等補助金収入	0	10,950,000	10,950,000			7,500,000	3,000,000			450,000					
収入	0	10,950,000	10,950,000			7,500,000	3,000,000			450,000					
施設整備等収入計(4)	0	10,950,000	10,950,000			7,500,000	3,000,000			450,000					
設備資金借入金元金償還支出	20,680,000	20,680,000	0			2,877,800	7,825,600	4,842,600	4,630,000	504,000					
固定資産取得支出	12,320,000	21,510,000	9,190,000			15,800,000	4,800,000	200,000	580,000	130,000					
建物取得支出(基本財産)	8,800,000	13,580,000	4,780,000			10,000,000	3,500,000		80,000						
車輛運搬具取得支出	1,500,000	1,500,000	△ 1,500,000			5,800,000	1,300,000	200,000	500,000	130,000					
器具及び備品取得支出	2,020,000	7,930,000	5,910,000			1,000,000	330,000								
固定資産除却・廃棄支出	1,330,000	1,330,000	0			1,000,000	330,000								
建物除却・廃棄支出(基本財産)	1,330,000	1,330,000	0			1,000,000	330,000								
施設整備等支出計(5)	33,000,000	43,520,000	10,520,000			19,677,800	12,955,600	5,042,600	5,210,000	634,000					
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 33,000,000	△ 32,570,000	430,000			△ 12,177,800	△ 9,955,600	△ 5,042,600	△ 4,760,000	△ 634,000					
拠点区分間繰入金収入	0	10,000,000	10,000,000			10,000,000									
サービス区分間繰入金収入	0	10,000,000	10,000,000			10,000,000									
収入	0	10,000,000	10,000,000			10,000,000									
その他の活動収入計(7)	0	10,000,000	10,000,000			10,000,000									
長期運営資金借入金元金償還支出	200,000	200,000	0			200,000									
積立資産支出	10,560,000	600,000	△ 9,960,000			400,000		80,000	120,000						
退職給付引当資産支出	560,000	600,000	40,000			400,000		80,000	120,000						
修繕積立資産支出	10,000,000	10,000,000	△ 10,000,000												
その他の活動による支出	10,000	10,000	△ 10,000												
長期前払費用支出	10,000	10,000	△ 10,000												
サービス区分間繰入金支出	10,770,000	800,000	△ 9,970,000			13,859,200									
サービス区分間繰入金支出	10,770,000	800,000	△ 9,970,000			14,459,200		80,000	120,000						
その他の活動資金収支差額(8)=(7)-(8)	△ 10,770,000	9,200,000	19,970,000			△ 4,459,200	6,305,600	3,842,600	1,297,000	1,683,000					
子館支出(10)	2,338,000	3,600,000	1,262,000			2,000,000	500,000	500,000	400,000	200,000					
子館支出(10)	2,338,000	3,600,000	1,262,000			2,000,000	500,000	500,000	400,000	200,000					
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0			0	0	0	0	0					
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0			0	0	0	0	0					
前期末支払資金残高(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
前期末支払資金残高(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822	0			179,388,794	9,085,594	4,910,680	4,596,686	818,604					
当期末支払資金残高(11)+(12)	199,037,822	199,037,822													

XIII 五岳荘拠点区分 資金収支予算書内訳表
(自)平成29年4月1日(至)平成30年3月31日

(単位:円)

勘定科目	前年度予算額	今年度予算額	比較	摘要	サービス区分		内部取引消去
					養護老人ホーム 五岳荘	いきがい対応型 デイサービス 事業	
収入							
介護保険事業収入	7,776,000	7,632,000	△ 144,000			7,632,000	
その他の事業収入	7,776,000	7,632,000	△ 144,000			7,632,000	
受託事業収入	7,776,000	7,632,000	△ 144,000			7,632,000	
老人福祉事業収入	104,040,000	106,164,000	2,124,000		106,164,000		
措置事業収入	104,040,000	106,164,000	2,124,000		106,164,000		
事務費収入	75,661,000	78,905,000	3,244,000		78,905,000		
事業費収入	27,379,000	27,259,000	△ 120,000		27,259,000		
その他の事業収入	1,000,000		△ 1,000,000				
経常経費寄附金収入	550,000	50,000	△ 500,000		50,000		
受取利息配当金収入	3,000	3,000	0		3,000		
その他の収入	50,000	50,000	0		50,000		
雑収入	50,000	50,000	0		50,000		
事業活動収入計(1)	112,419,000	113,899,000	1,480,000		106,267,000	7,632,000	
事業活動による収支							
支出							
人件費支出	46,030,800	52,313,000	6,282,200		46,985,000	5,328,000	
職員給料支出	24,094,800	27,320,000	3,225,200		25,700,000	1,620,000	
職員賞与支出	5,729,300	6,010,000	280,700		5,700,000	310,000	
非常勤職員給与支出	5,192,000	5,735,000	543,000		3,535,000	2,200,000	
派遣職員費支出	5,139,200	7,498,000	2,358,800		6,600,000	898,000	
退職給付支出	403,000	350,000	△ 53,000		350,000		
法定福利費支出	5,472,500	5,400,000	△ 72,500		5,100,000	300,000	
事業費支出	29,127,000	33,471,000	4,344,000		30,947,000	2,524,000	
給食費支出	10,684,000	11,099,000	415,000		11,065,000	34,000	
介護用品費支出	66,000	79,000	13,000		79,000		
医薬品費支出	383,000	341,000	△ 42,000		306,000	35,000	
保健衛生費支出	360,000	360,000	0		360,000		
教養娯楽費支出	592,000	592,000	0		592,000		
本人支給金支出	4,390,000	5,603,000	1,213,000		5,603,000		
水道光熱費支出	7,885,000	9,965,000	2,080,000		8,280,000	1,685,000	
燃料費支出	35,000	38,000	3,000		19,000	19,000	
消耗器具備品費支出	2,053,000	2,292,000	239,000		2,124,000	168,000	
保険料支出	826,000	707,000	△ 119,000		597,000	110,000	
賃借料支出	1,023,000	1,201,000	178,000		1,201,000		
車輛費支出	797,000	870,000	73,000		397,000	473,000	
雑支出	33,000	324,000	291,000		324,000		
事務費支出	16,596,200	14,196,400	△ 2,399,800		13,400,000	796,400	
福利厚生費支出	868,500	917,000	48,500		840,000	77,000	
職員被服費支出	14,500	5,000	△ 9,500		5,000		
旅費交通費支出	197,300	100,000	△ 97,300		100,000		
研修研究費支出	200,000	300,000	100,000		300,000		
事務消耗品費支出	177,000	150,000	△ 27,000		132,000	18,000	
修繕費支出	1,771,400	3,819,000	2,047,600		3,661,000	158,000	
通信運搬費支出	420,000	349,000	△ 71,000		304,000	45,000	
業務委託費支出	12,149,600	7,626,400	△ 4,523,200		7,198,000	428,400	
租税公課支出	157,000	129,000	△ 28,000		84,000	45,000	
保守料支出	251,900	257,000	5,100		237,000	20,000	
渉外費支出	213,400	369,000	155,600		364,000	5,000	
諸会費支出	125,000	125,000	0		125,000		
雑支出	50,600	50,000	△ 600		50,000		
事業活動支出計(2)	91,754,000	99,980,400	8,226,400		91,332,000	8,648,400	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	20,665,000	13,918,600	△ 6,746,400		14,935,000	△ 1,016,400	

XIII 五岳荘拠点区分 資金収支予算書内訳表
(自)平成29年4月1日(至)平成30年3月31日

(単位:円)

勘定科目	前年度予算額	今年度予算額	比較	摘要	サービス区分		内部取引消去
					養護老人ホーム 五岳荘	いきがい対応型 デイサービス 事業	
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	1,220,000	949,000	△ 271,000	949,000		
	施設整備等補助金収入	1,220,000	949,000	△ 271,000	949,000		
	施設整備等収入計(4)	1,220,000	949,000	△ 271,000	949,000		
	固定資産取得支出	6,565,000	4,467,000	△ 3,114,400	4,467,000		
	建物取得支出(基本)	2,500,000	1,180,000	△ 1,320,000	1,180,000		
	車輦運搬具取得支出	1,634,000		△ 1,634,000			
器具及び備品取得支出	2,431,000	2,270,600	△ 160,400	2,270,600			
施設整備等支出計(5)	6,565,000	3,450,600	△ 3,114,400	3,450,600			
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 5,345,000	△ 2,501,600	2,843,400	△ 2,501,600			
その他の活動による収支	サービス区分間繰入金収入					1,016,400	△ 1,016,400
	その他の活動収入計(7)	0	0	0		1,016,400	△ 1,016,400
	積立資産支出	13,270,000	272,000	△ 12,998,000	272,000		
	退職給付引当資産支出	270,000	272,000	2,000	272,000		
	修繕積立資産支出	13,000,000		△ 13,000,000			
	拠点区分間繰入金支出		10,000,000	10,000,000	10,000,000		
サービス区分間繰入金支出				1,016,400		△ 1,016,400	
その他の活動支出計(8)	13,270,000	10,272,000	△ 2,998,000	11,288,400		△ 1,016,400	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 13,270,000	△ 10,272,000	2,998,000	△ 11,288,400	1,016,400	0	
予備費支出(10)	2,050,000	1,145,000	△ 905,000	1,145,000			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	0	0	0	
前期末支払資金残高(12)	25,425,028	25,425,028	0	25,759,049	△ 334,021		
当期末支払資金残高(11)+(12)	25,425,028	25,425,028	0	25,759,049	△ 334,021	0	

XIV まほろば拠点区分 資金収支予算書内訳表
(自)平成29年4月1日(至)平成30年3月31日

(単位:円)

勘定科目		前年度予算額	今年度予算額	比較	備考	
収入	介護保険事業収入	149,100,000	154,340,000	5,240,000		
	施設介護料収入	109,000,000	112,670,000	3,670,000		
	介護報酬収入	96,000,000	101,400,000	5,400,000		
	利用者負担金収入(一般)	13,000,000	11,270,000	△ 1,730,000		
	利用者等利用料収入	40,100,000	41,670,000	1,570,000		
	施設サービス利用料収入	1,900,000	2,040,000	140,000		
	食費収入(公費)	4,300,000	3,650,000	△ 650,000		
	食費収入(一般)	9,200,000	10,440,000	1,240,000		
	居住費収入(公費)	7,300,000	6,000,000	△ 1,300,000		
	居住費収入(一般)	17,400,000	19,540,000	2,140,000		
	経常経費寄附金収入	100,000	100,000	0		
	受取利息配当金収入	10,000	10,000	0		
	その他の収入	500,000	500,000	0		
	雑収入	500,000	500,000	0		
事業活動収入計(1)		149,710,000	154,950,000	5,240,000		
事業活動による収支	支出	人件費支出	80,150,000	90,750,000	10,600,000	
		職員給料支出	51,700,000	56,000,000	4,300,000	
		職員賞与支出	10,900,000	14,000,000	3,100,000	
		非常勤職員給与支出	5,100,000	3,800,000	△ 1,300,000	
		派遣職員費支出	1,550,000	4,000,000	2,450,000	
		退職給付支出	900,000	950,000	50,000	
		法定福利費支出	10,000,000	12,000,000	2,000,000	
		事業費支出	22,250,000	22,880,000	630,000	
		給食費支出	8,980,000	9,000,000	20,000	
		介護用品費支出	1,300,000	1,300,000	0	
		医薬品費支出	180,000	180,000	0	
		保健衛生費支出	220,000	200,000	△ 20,000	
		教養娯楽費支出	200,000	300,000	100,000	
		水道光熱費支出	5,700,000	7,000,000	1,300,000	
	消耗器具備品費支出	3,500,000	3,000,000	△ 500,000		
	保険料支出	570,000	400,000	△ 170,000		
	賃借料支出	1,400,000	1,400,000	0		
	車輛費支出	200,000	100,000	△ 100,000		
	事務費支出	9,348,480	8,235,000	△ 1,113,480		
	福利厚生費支出	2,300,000	2,500,000	200,000		
	職員被服費支出	5,000		△ 5,000		
	旅費交通費支出	50,000	50,000	0		
	研修研究費支出	1,300,000	1,500,000	200,000		
	事務消耗品費支出	200,000	300,000	100,000		
	修繕費支出	110,000	500,000	390,000		
	通信運搬費支出	300,000	300,000	0		
	業務委託費支出	3,979,480	1,798,000	△ 2,181,480		
	租税公課支出	100,000	100,000	0		
	保守料支出	490,000	500,000	10,000		
	渉外費支出	132,000	200,000	68,000		
	諸会費支出	187,000	187,000	0		
	雑支出	195,000	300,000	105,000		
	支払利息支出	7,240,000	7,200,000	△ 40,000		
事業活動支出計(2)		118,988,480	129,065,000	10,076,520		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		30,721,520	25,885,000	△ 4,836,520		

XIV まほろば拠点区分 資金収支予算書内訳表
 (自)平成29年4月1日(至)平成30年3月31日

(単位:円)

勘定科目		前年度予算額	今年度予算額	比較	備考
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	900,000	320,000	△ 580,000	
	施設整備等補助金収入	900,000	320,000	△ 580,000	
	施設整備等収入計(4)	900,000	320,000	△ 580,000	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出		13,560,000	13,560,000	
	固定資産取得支出	2,600,000	2,400,000	△ 200,000	
建物取得支出(基本財産)		400,000	400,000		
車輛運搬具取得支出	1,600,000		△ 1,600,000		
器具及び備品取得支出	1,000,000	2,000,000	1,000,000		
施設整備等支出計(5)	2,600,000	15,960,000	13,360,000		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 1,700,000	△ 15,640,000	△ 13,940,000		
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	支出				
	その他の活動支出計(8)	0	0	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0		
予備費支出(10)	1,901,520	2,745,000	843,480		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	27,120,000	7,500,000	△ 19,620,000		
前期末支払資金残高(12)	14,415,153	41,535,153	27,120,000		
当期末支払資金残高(11)+(12)	41,535,153	49,035,153	7,500,000		